



福島りえこ

東京都議会議員 / 世田谷区選出

プロフィール

昭和46年世田谷区桜上水生まれ、世田谷区新町在住（最寄り桜新町駅）。東北大学大学院理学研究科修了後、民間研究機関に22年勤務。平成29年より東京都議会議員（2期目）。会派政調会長代行、総務委員会理事、都議会のあり方検討会委員、新型コロナウイルス感染症対策特別委員会委員

東京の未来にむけて、子育て・GX・DX分野を重点化するとともに社会保障の質を高める、都民ファーストの会東京都議団の提案を反映した、総額16兆円の令和5年度予算案が編成されました。

少子化対策に本気の政策 都民ファーストの会東京都議団が小池都知事に提案

すべての子どもに月額5,000円給付「018サポート」令和5年度スタートへ！

所得に関わらずすべての子育て家庭に児童手当相当の支援を小池都知事に重点政策として要望

東京の子育ての課題

- 国の支援策には所得制限がある
- 東京は家賃・物価・教育費がすべて全国1位

希望する数の子どもが持てない

国の対策が十分に行われてこなかった「失われた20年間」において、日本の給与収入は横ばいである一方で教育費など子育て支出は増え続けています。国の根幹を揺るがす少子化に対して、まずは東京から子育て負担（経済面、働き方、家事負担等）の軽減策を充実します。



仕事と家庭や子育てを両立できる東京へ。都民ファーストの会東京都議団が提案・実現した政策を拡充、チルドレンファーストを推進します。

1 出産応援事業

一昨年実現した「出産応援事業」を継続・充実させます。

国の支援と合計で

20万円分の商品・サービス券を提供！



2 第2子から保育料無償！

所得制限なしで第2子以降の保育費用を無償化します。

第2子の保育料

~~半額~~
無償

令和5年度から



3 卵子凍結を選択肢に！

不妊治療の費用助成に加えて、卵子凍結を将来の選択肢とできるよう新たな助成を開始します。

不妊治療の費用助成

卵子凍結
を対象に！



4 無償でテクノロジーに触れられる場所の創設

興味を持った子供が、放課後に、気軽にテクノロジーに触れ、学べる場所を作ります。



Society5.0時代を
生き抜く力をつける

5 フリースクールを選択肢に

不登校など様々な事情の子供達が、公立学校以外の学びの場を選択できるよう支援します。

継続

不登校でフリースクールに通う家庭に対して
月2万円の実態調査協力金を支給

フリースクール
認証制度の創設
を目指します



6 子どもたちに食事を

子供食堂やフードパントリーを推進する区市町村に対する支援を拡充します。



7 子供の遊び場の確保

公共空間や施設を使って、子供達の遊び場を増やします。プレーパークの取組みやプレーリーダーの育成を支援することで、多様な遊び方を育みます。

東京の介護を変える！介護度の改善・維持への報奨金創設 新規

少しでも長く元気に過ごせる東京シニアライフを実現させます



要介護度の維持・改善に資する取り組みに報奨金を新設し、介護事業者による自立支援の創意工夫を促します。

ADL(日常生活動作)維持等加算

要介護度の維持

要介護度の改善

20万円

+10万円

+20万円

現在の制度
●介護度が上がると、報酬も上がる
➡事業者が自立支援を頑張ると収入が減る仕組み

そこで

介護人材の確保・育成 継続

- 介護人材確保対策事業
- 東京都介護職員宿舎借り上げ支援事業
- 介護職員奨学金返済・育成支援事業 など

高齢者施設の計画的な整備 拡充

特別養護老人ホーム等の整備に必要な費用の補助について、
1床当たりの補助単価を更に増額

さらに 介護業務の負担軽減 新規・拡充

- 介護業務の負担軽減のためのロボット導入や、介護職OBの活用などの新たな取り組みを支援
- 介護現場の生産性向上のための設備投資や人材育成に取り組む事業者の支援を拡充

Check! 関東大震災から100年の節目に、地域の防災力を抜本的に強化します 新規30億円

出火防止

2020年時点で普及率8%の感震ブレーカーを木造住宅密集地域を中心に直接配布します。

町会・自治会

災害時の活動に必要な備蓄品を再点検し、不足備品を購入する場合、補助率10/10、上限30万円の補助を行います。

マンション防災

都民の7割が居住するマンションの防災備蓄資機材の整備に、補助率2/3、上限66万円の補助を行います。



第11回 福島りえこ都政報告会 「子育てしやすい東京」

4.1日
18:30 START

会場：梅丘パークホール
会費：300円

同時オンライン配信(無料)
感染状況によってはオンラインのみ

コロナ禍の影響もあり、2021年の合計特殊出生率(1人の女性が生涯に産む子どもの数)は1.30と、6年連続で低下し、出生数も81万1604人と前年比2万9231人減で、6年連続で過去最少になりました。対策が充実している欧米で速やかに回復しているのとは対照的です。

東京都では、小池百合子東京都知事と都民ファーストの会東京都議団が、「待機児童の解消」にはじまり、「不妊治療の助成」や「出産一時金の上乗せ」、そして来年度予算では、所得制限のない「018サポート」の創設等、少子化対策で国を牽引してきました。

一方で、経済的支援以外にも、「ソーシャル・キャピタル」すなわち、地域コミュニティの存在が出生率に関係しているという報告もあります。

「チルドレンファースト」な東京を牽引してきた小池百合子東京都知事と、多胎児育児に関する専門家の市倉加寿代氏のご講演、そして、参加者の皆様とのワークショップを通じて、「子育てしやすい東京」のあり方について、議論していきます。

プログラム

- 18:00 開場(受付開始予定)
- 18:30 都政報告会 開会
- 20:15 都政報告会 閉会予定

会費

都政報告会費 **300円**
(資料代他として)

お申込み

<https://forms.gle/2vn9HwF6DEgDP3Sc9>



- ・無料託児あり(6ヶ月~未就学児)
- ・定員になり次第〆切
- ・開催当日前日までに申し込みください



東京都知事
小池 百合子



多胎育児のサポートを考える会
市倉 加寿代



東京都議会議員
福島 りえこ

ご意見をお寄せください。

発行元/お問合せ
都民ファーストの会東京都議団
東京都議会議員

福島りえこ

〒163-8001 東京都新宿区西新宿2-8-1 東京都議会議事堂5階
TEL 090-8345-6086 FAX 03-4243-2721
E-MAIL tomin1st.fukushima.rieko@gmail.com

E-mail QR

